

DIPEX-Japan 第4回総会記念シンポジウム



日時：2012年 7月21日(土) 13:00～16:00 (受付開始 12:30～)

場所：浜離宮朝日ホール・小ホール (朝日新聞東京本社・新館)

(最寄駅：都営大江戸線・築地市場駅下車 A2 出口 3分 / JR 新橋駅汐留口より徒歩 15分)

定員：200人 参加費：会員 無料 / 非会員 1,000円 (資料代含む)

がんを生き 病いを語る

患者の語りをもたらしもの 前立腺がんの語りから



NPO 健康と病いの語り ディペックス・ジャパン
乳がんや前立腺がんの体験談を動画や音声で公開しています



ディペックス・ジャパンが、がん患者の体験談・語りデータベースの構築に着手して今年で丸5年。ようやく「乳がんの語り」に加えて、「前立腺がんの語り」ウェブページも完成しました。

約50名の前立腺がん経験者が、自らの病気体験を自らの言葉で語ってくださいました。これを記念して、泌尿器科医・国立がんセンター名誉総長でもあり、最愛の奥様をがんで亡くされ、ご自宅で看取られた垣添忠生さんをお招きし、「がんと人間と社会」をテーマにお話しいただきます。

プログラム

ご挨拶 別府宏圀 (DIPEX-Japan 理事長)

第1部 13:10～14:15

講演 「がんと人間と社会」 垣添忠生

国立がんセンター名誉総長

かきぞえ ただお 1941年生まれ。東京大学医学部卒業。1975年から国立がんセンター病院勤務。2002年に総長に就任。2007年に退職し名誉総長。(財)日本対がん協会会長。『前立腺がんで死なないために』『患者さんと家族のためのがんの最新医療』など著書多数。定年を迎え「妻とのんびり過ごしていこう」と思った矢先、最愛の夫人をがんで失う。一年半にわたる看取りとその後の絶望感、どん底から立ち直るまでの道のりを赤裸々に綴った著書『妻を看取る日』が話題に。

第2部 14:30～15:20

「前立腺がんの語りウェブページ完成報告」 澤田明子 (DIPEX-Japan)

「前立腺がんと私」 中島正昭 / 吉田道雄 (前立腺がん体験者)

第3部 15:20～16:00

パネルディスカッション 垣添忠生 / 中島正昭 / 吉田道雄



●参加申込み方法：事務局宛に氏名・連絡先・会員/非会員の別を明記の上、7月18日(水)までにホームページ、Fax、メールにてお申し込みください (先着順)

ディペックス・ジャパン事務局

<http://www.dipex-j.org/>

Fax:03-5568-6187

E-mail: forum2012@dipex-j.org

お問い合わせ：050-3459-2059